

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 11 月 1 日

事業所名 コベルプラス 千葉ニュータウン教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0		個別療育が主のため、お子様が落ち着いて療育を行える、認可基準以上のスペースを確保しております。
	② 職員の配置数は適切である	8	0		職員の配置数は適切に守っており、個別療育では 1 対 1 で対応し、集団療育では 2 名に 1 名の補助が付いております。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0		エントランスから全ての部屋の扉が見渡せるレイアウトになっております。よって到着したお子様は、入り口から一人で手を洗いに行ったり、トイレに行ったりしていらっしゃいます。また白で統一し、情報過多にならないよう気をつけております。お子様が少しまぶしそうにされた場合は、照明を 10 段階で調整することができます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	1 日に 2 回清掃を行っている。	Panasonic 次亜塩素酸空間除菌脱臭機 ジアイーノを始めとする、ウイルス対策用機器を各種取り入れております。また、1 日 2 回の清掃に加えて、療育後の消毒、加湿器やエアコンのフィルターの清掃等、適宜行っております。
業務	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0		療育毎に目標の確認と振り返りを行うだけでなく、職員間の連携も丁寧に行っております。次回の療育までに用意すべき教材がある場合は、準備して臨みます。

改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		毎年、保護者様から評価表を通してご評価頂き、感謝しております。今年も、お忙しい中、たくさんの方にご評価いただき有り難く受け止めると共に、改善すべき点に関しましては丁寧に向き合って参ります。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		コペルプラスのホームページに毎年、評価結果を公開しております。本年もホームページでの公開を予定しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0		現在、第三者による外部評価は行ってはおりません。今後、必要に応じて検討して参ります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	必要な研修には参加するようにしている。	半年に一度、本部の研修会に参加し、その内容を職員間で共有しております。今後も、職員のスキルアップを図るために、該当者が様々な研修を受講し、内容を共有して参ります。 毎回の療育においては、難しかった点などを常に共有し、指導するように心掛けております。
適切な支	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0		療育を行うためには、丁寧なアセスメントが不可欠だと感じております。保護者様からしっかりとニーズを伺い、分析してご一緒に目標を立てるようにしております。

援 の 提 供					療育は毎回担当を変えることで、多面的にお子様の様子を見るように心がけております。そして、様々な状況からアセスメントの必要性を感じた時には、保護者様と相談して目標の見直しをさせて頂くこともございます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	株式会社コペルのアセスメントツール「発達段階観察シート」を使用しております。標準化されたツールを使用することで様々なことが見えてきます。引き続き、忠実に使用して参ります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	ご契約時のアセスメントや半年ごとのモニタリングを通して、保護者様からご自宅や日中、主に活動している場（保育園・幼稚園）での様子を伺い、一緒に支援内容を設定しております。個別支援を達成するための毎回の支援内容も、細かく設定しております。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	児童発達支援計画に沿った支援ができるよう毎回、適切な教材を用いるよう心掛け、その内容を記録し、次の支援につなげております。今後も児童発達支援計画に沿って行って参ります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	半年毎のモニタリングの前には必ず職員全員でカンファレンスを行い、半年間の振り返りと、次の目標の立案を行っております。 日々の療育では、全員がお子様の療育に関わることから、気づいたことは全員で共有し、療育に付加すべき点や改善点、注意すべき点を常に検討しております。

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		基本プログラム以外は毎月教材が変わり、週毎にも変化が感じられるようになっています。また、個別支援を強化するために、日々の療育で気付いたことを次につなげながら、必ずスモールステップで取り組めるよう、どのような教材、どのようなアプローチが合うのか常に研究しております。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	8	0		個別療育を主に行っておりますが、粗大運動は同枠のお子様と行うなど、社会性の向上に努めております。また、お子様の発達段階や支援目標に応じて、コミュニケーショントレーニングや小集団（最大6名）へのご参加も促しております。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	毎回担当の指導員が前回の記録を見て、どのような支援を行うのか確認している。	前回の支援内容を確認し、前回の担当者に相談してから、その日の療育に付加すべきことや注意すべきことは何かを明確にします。必要な教材を揃え、しっかり準備してから療育に臨むよう努めております。粗大運動を同枠のお子様と行う場合は、指導員の役割分担についても確認しております。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0		準備した支援策に対してお子様がどのように反応したのか、支援後に丁寧に振り返って次回につなげることを明確にし、記録しております。お子様のご様子は毎回異なるため、小さな気づきが重要だと考え、必ず職員間で共有しております。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		事業所では、お子様の社会性を促すために、そして職員全員がお子様のことをしっかりと把握できるよう、担当する指導員が毎回異なります。毎回、療育後に保護者様向けの記録と、職員間への申し送りを必ず記録しております。次の担当者へしっかりと引き継ぐことで、多面的な支援となるよう心掛けております。丁寧に記録を取ることで、次のモニタリング時の検証や改善に活かしております。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		保護者様にはお忙しい中、半年に1度、モニタリングにご協力頂いております。モニタリングの前には必ず職員全員でカンファレンスを行い、半年間の振り返りと、次の目標の立案をしております。 モニタリングでは保護者様からご自宅や日中、主に活動している場（保育園・幼稚園）での様子を丁寧にお教え頂き感謝しております。伺った内容に基づいて、児童発達支援計画を見直しております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		お子様に多くの指導員が関わるよう、毎回担当を変えております。サービス担当者会議の前には全員でカンファレンスを行い、お子様の状況を取りまとめ、最もふさわしい児童発達支援管理責任者が参画するようにしております。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0		関係機関の皆様には、いつもご助言を頂き、感謝しております。これからも必要に応じて連携して参ります。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2	現在は該当する子どもがいないので、対応はしていないが、連携を取る体制は整えている。 （該当なしの為、未回答3）	現在、医療的ケアが必要なお子様はいらっしゃいませんが、医療的ケアが必要な場合は、しっかりとした連携支援体制を整えます。 保護者様には常にお子様の状況やケア内容を確認して頂くように心掛けます。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）	4	1	現在は該当する子どもがいないので、対応はしていないが、連携を取る体制は整えている。 （該当なしの為、未回答3）	ご契約時には医療的ケアが必要かどうかを確認して、ご要望に応じた連携体制を整えよう心掛けております。

者 と の 連 携		子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㊸	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0		お子様が日中過ごされている場（保育所、幼稚園など）との情報共有を積極的に行っております。ぜひ、ご相談下さい。
	㊹	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	就学時にご希望があれば、連携シートを作成し、情報を共有している。	毎年卒業予定の方へ、移行支援シートという形で情報提供させて頂いております。希望される方はぜひ、ご相談下さい。
	㊺	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		専門機関が開催して下さる研修会には必ず出席させて頂いており、常にブラッシュアップできていることに感謝しております。
	㊻	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	8		通所者様の多くが、発達に関する支援センターを利用されていたり、保育所や幼稚園等に通われていたりするため、こちらでは1対1の療育に重点を置いております。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部 会や地域の子ども・子育て会議 等へ積極的に参加している	1	6	(未回答 1)	そのような機会がありましたら、必要に応じて検討して参ります。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者 と伝え合い、子どもの発達の状 況や課題について共通理解を持 っている	8	0		療育中に気付いたことは全て、フィードバックの時間に保護者様へ伝えております。また保護 者様から最近のお子様のご様子等を伺い、職員間でしっかりと共有しております。課題につ いては改善策を講じ、内容に応じては、相談支援を行っております。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る 観点から、保護者に対して家族 支援プログラム（ペアレント・トレ ーニング等）の支援を行っている	2	5	(未回答 1)	今後、ペアレントトレーニングを行う予定です。生活の中で起こりうる事例を取り上げて話し 合ったり、悩んでいることをみんなで共有して一緒に考えたりする会です。日程が合わない場 合はご要望に応じて、個別療育の時間に保護者様だけ相談室にて行ったり、交流を兼ね て集団の時間に行ったりすることもできますので、ご興味のある方はぜひお声掛け下さい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8	0		ご契約時、そして必要に応じて、今後も丁寧にご説明して参ります。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児 童発達支援の提供すべき支援」 のねらい及び支援内容と、これに 基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容 の説明を行い、保護者から児童 発達支援計画の同意を得てい る	8	0		児童発達支援ガイドラインに沿って教室運営を行い、ご契約時にはアセスメントで明確にした 支援目標の説明を行い、同意を得ております。モニタリング時にも同様に保護者様と共に 支援内容を更新し、同意を得ております。

③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		療育中やフィードバック時にご相談にのっておりますが、じっくりご相談なされたい場合は場所を相談室に改めたり、日を改めたりと丁寧に対応するよう心掛けております。
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2 △ 1	5	父母の会はないが、集団療育の際に、保護者様同士で交流している様子がある。	新型コロナウイルスを考慮し、保護者会を開催してはおりませんが、必要に応じて同じ固定枠の方同士、ご入園や就学に関して情報共有されたい方同士をお繋ぎしております。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		療育中やフィードバック中に丁寧に対応するよう心がけておりますが、ご相談内容によってはお調べしたり新しい教材を用意したりした方がいい場合もございます。時には、試行錯誤することもございますが、ご相談内容が気にならなくなるまで支援させて頂いております。
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	会報等は作成していないが、定期的に LINE を使って行事予定の連絡や緊急連絡を行っている。	LINE を活用して、随時、教室の運営面のこと、受給者証のこと、レッスンの空き情報、地域のイベント等を発信しております。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		個人情報の取り扱いには厳重に注意を払っております。情報は鍵付き書庫に入れる等、今後も細心の注意を払って参ります。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		フィードバックは必ず療育を行った部屋で扉を閉めて行っております。ご相談の際には必ず相談室を利用し、また、関係機関との情報伝達ではお名前を一部伏せ字にするなど配慮しております。

	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	(未回答 1)	個別療育を主としており、地域住民の方を招待するような行事は開催しておりません。事業所のある商業施設のイベントへの参加を通して、開かれた事業運営となるよう心掛けております。
非常時などの対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0		各種マニュアル、コロナウィルス対応表は教室内に掲示、もしくはファイルを設置しております。定期的に感染症委員会や防犯対策委員会を行い、訓練を行っております。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		事業所内で火災や地震による避難訓練を、毎月、自主防災訓練として行っております。また、事業所のある商業施設の防災訓練（年 2 回）にも必ず参加しております。防災訓練報告書を保護者様に LINE で伝えることにより、避難の流れや経路の確認ができるよう努めております。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	食事の提供がない為、細かく服薬について確認はしていないが、てんかん等、どのような症状を持っているのかは確認している。	ご契約時には必ずお伺いし、把握しております。また、モニタリング時にも最近の様子をお伺いし、お子様の状況を確認しております。服薬につきましては、1 時間の保護者様同伴の療育のため、基本的に対応しておりません。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	食事の提供がない為、医師の指示書は確認していないが、アレルギーがあるかどうか確認し、教材で使用	ご契約時には必ずお伺いし、把握しております。ただ、おやつなどの提供はない為、食物アレルギーのあるお子様でも医師の指示書の提出は求めてはおりません。

				する場合には、保護者に確認を取っている。 (未回答 1)	使用する教材に関しては、アレルギー性のものが含まれた物は使わないよう配慮しております。
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		発生した事例内容を「ヒヤリハット報告書」をもとにしっかりと共有し、同じような事例が二度と起きないよう、全員で確認し、対策を取っております。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		虐待・身体拘束防止委員会を各月に実施し、虐待に関する研修を行い、言動の振り返りを常に行っております。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0		ご契約時に、身体拘束を行うのは「どのような時に、どのようなやり方で、どれくらいの時間行うのか」を、動作を交えて丁寧に説明しております。 また、虐待・身体拘束防止研修を通して、「どのような場合が「やむを得ず」に該当するのか、意識を同一にできるよう努めております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。